

## 2024 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 木津川市立木津南中学校 ] 担当教諭名 [ 宮原 麻美・布留宮 弦 ] ( 美術部 18名 )

相手国・地域 [ アルゼンチン ]

海外学校名 [ Colegio Provincial de Educacion Secundaria no.9 ] 担当教諭名 [ Gustavo Badano ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単 元 名	時間数
		美術部	アートマイルプロジェクトで世界とつながろう

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	世界のどこにいても、自然環境を尊ぶことは 命を尊ぶこと
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	自然は普遍的であり、自然との共存は人々の協力無しには成り立ちません。人々が協力して目標を実現していくためには、民族、男女など、あらゆる差別の壁を取り払うことが大切です。テフェルチェ族やアイヌ民族が古来大切にしてきた自然との共存の方法や考え方を私たちも学んでいくことに、持続可能な「Life on land」のゴールへのヒントがあると思います。



### ■今回の取組の成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
両国の壁画に取り入れたいSDGsのテーマが違ったが、お互いの意見を交流する中で、自然環境や様々な差別の問題を解決するヒントとして、先住民族を絵の中に描き、まとめることができた。生徒たちは、今まであまり知らなかったことを深めることができ、積極的に協力し、意見交流して成長できたようだ。	相手校の先生が美術の先生と連携をとってくださって、スムーズに進んだが、壁画の絵柄の意味など細かい部分の交流ができにくかった。日本からアルゼンチンに着いた後、相手校に届くまで非常に時間がかかった。また、日本へは早く届いたが、荷物の痛みが酷く、作品の補修が必要だった。

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
部員全員が一体感を持ち取り組んでいた。話すことが苦手な生徒もいたが、自分の言葉で発信することで、お互いを知る機会になり、学年を超えて自然に協力できるようになった。相手国に対する理解が深まった。リーダーの生徒たちは、周りを見ながら班や全体に指示できるようになった。	普段学校でできない経験をさせ、世界に向けて意識を広げていって欲しいという思いで取り組んだ。生徒たちは、とても素直に吸収していったと思う。アルゼンチンに対して、一般的な知識だけではなく、調べたり交流したりして新しく知識を得る中で、生徒たちの意識が変化していく様子が興味深かった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月 ～ 9月	・アルゼンチンについての調べ学習 ・メッセージ動画を作って送った。 ・グループ毎にSDGsのテーマについてマインドマップで話し合った。	相手が決まり、興味津々で、調べ学習も楽しそうだった。 班ごとにマインドマップを書くことで、お互いの考えを知る交流にもなった。	部活動
共有 相手と意見交換	9月 10月	・SDGsのテーマをより深めるために、感想を発表し合った。またアルゼンチンの先住民族のことや、環境と観光の問題を知った。	相手校の文化祭の写真にとっても興味を持っていた。相手の美術作品に込められた環境へのメッセージを評価する意見が多かった。	部活動
融合 メッセージ作成	10月 11月	・壁画のテーマを決めるために、意見交流を行った。相手国が日本庭園の美しさを伝えてくれた。	日本庭園の美しさについて再認識していた。「世界のどこにいても、自然環境を尊ぶことは 命を尊ぶことです」というメッセージに共感していた。	部活動
創造 壁画制作	12月	・制作期間が限られていたので早めに取り組み、ほぼ予定通り完成することができた。	生徒たちは、協力し合い、一生懸命制作に取り組んでいた。	部活動
評価 振り返り 自己評価	3月	・フォーラムで壁画完成投稿を見て意見の交流を行い、それを投稿で伝えた。卒業式前に壁画が到着し、展示した後、細部の加筆と補修を行い鑑賞と感想交流を行った。	記念撮影の時、美術部員全員で参加できなかったのが残念だった。改めて年度初めの4月に学校全体に紹介する予定である。	部活動

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化を理解する力	4	積極的に相手の国を知ろうとしていた。生徒の感想にも、アルゼンチンについての印象が変わり、興味がわき、理解が深まったという意見が多かった。
主体的に考え行動する力	4	昨年アートマイルを経験した2年生がリーダーになって、1年生を指導し、グループをまとめていた。教師にも積極的に提案していた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	3	ジェンダーの問題について、身近な男女差別について調べたことを交流し、昔～今の日本の状況をあらためて全員で考えられた。それを相手国とより深められると面白かったと思う。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	3	自分たちの意見や様子はまめにフォーラムで伝え合ったが、今年度も時差の関係でオンライン会議ができず、リアルな交流ができなかったことは残念だった。
想いを表現する力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	壁画については、限られた時間によく協力して完成できたと思う。色彩の構成、表現方法も工夫しながら自分たちの考えを表現しようとしていた。